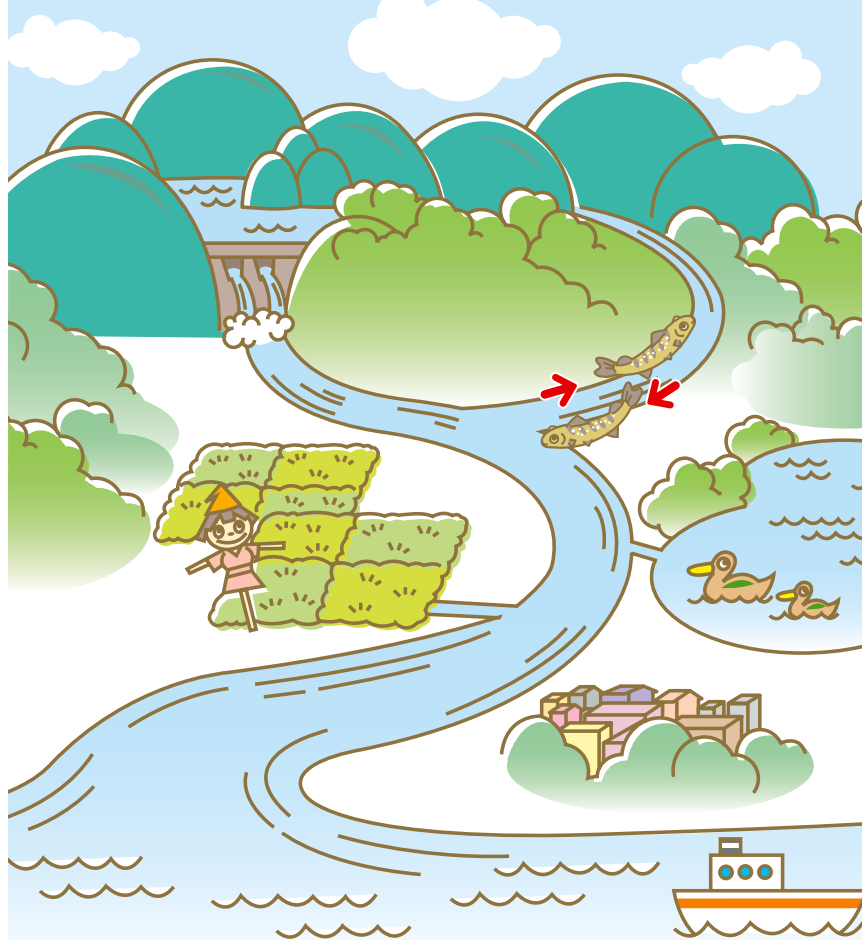


イワナとアメマス的一生 いっしゅう

●イワナ的一生と生活場所 いっしゅう せいかつ ばしょ（川で一生をすごすグループ）

川で一生をすごすイワナは、水が冷たく、きれいな川の
上流じょうりゅうで生活します。満2才まんさいから親おやになり、秋には良い産卵
場所ばしょをもとめて最上流部さいじょうりゅうぶへのぼっていきます。



秋10月頃 がつごろ 川の最上流部で産卵します。



12月頃 たまご 卵からふ化かします。



春まで石の下に隠れて、卵のうから
栄養えいようをもらって成長せいちょうします。



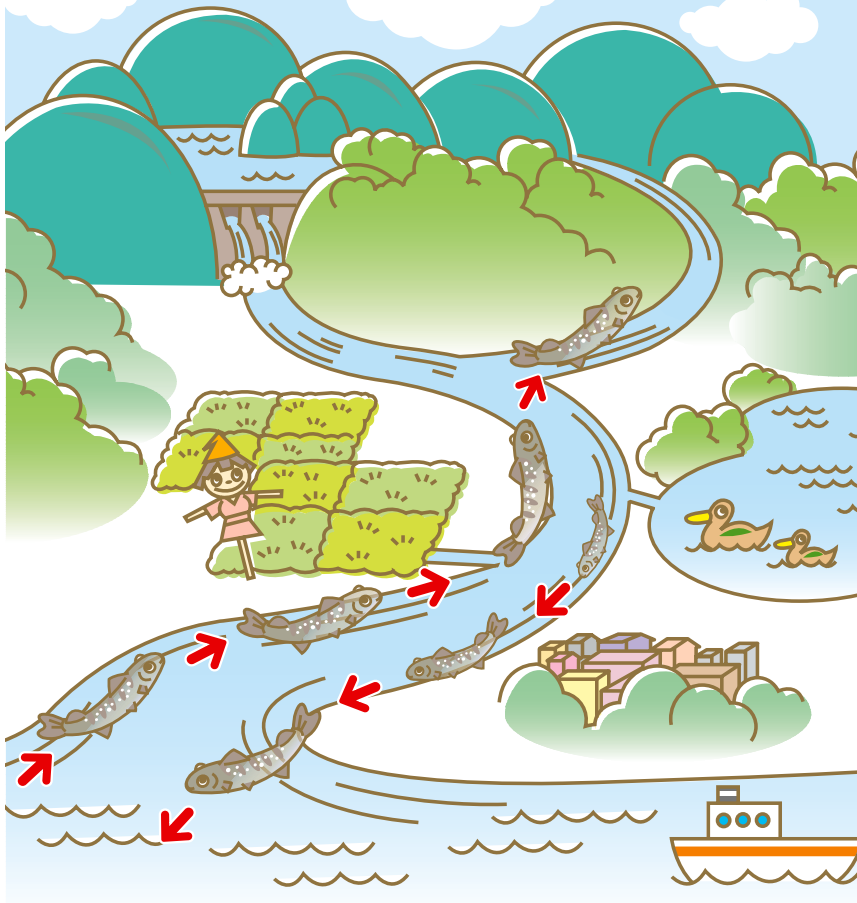
川の上流で成長し、満2才から親になり、産卵を行うようになります。
産卵のため最上流部まで移動いどうします。



春、川に泳ぎ出します。

● アメマスいっしやう せいかつ ぼ しょ うみの一生と生活場所（海で大きく成長するグループ）

川の上流で生まれたアメマスは、1～3年川で過ごし、早春そうしゆんに海にくだり、海で大きく成長せいちやうします。そして初夏しよ かには川に帰かえってきます。川に帰ってきたアメマスは、秋あきには産卵い どうのために上流部へ移動します。



秋10月頃がつごろ 川の最上流部で産卵します。



12月頃 卵からふ化たまご かします。



石の下で卵のうから栄養をもらってゆっくり成長します。4月頃 石の下から泳ぎだします。およ



海におりたアメマスは、初夏しよ かに川に帰ります。秋には産卵のために上流部へ移動します。



川で1～3年生活し、早春そうしゆんに海へくだります。

イワナの産卵床

●なぜイワナの人工産卵床をつくるの？

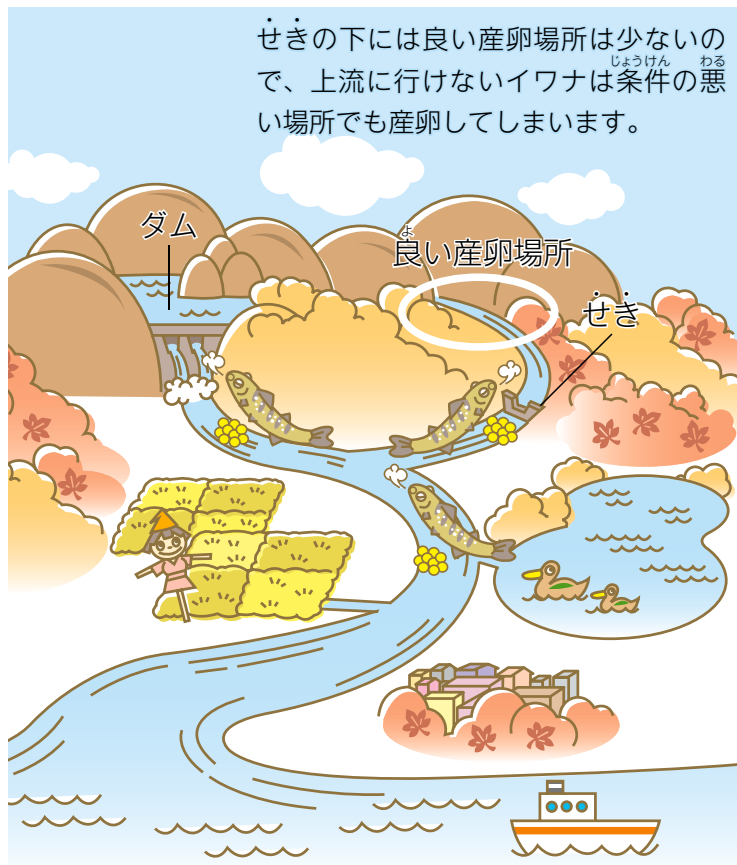
良い産卵場所を探して、イワナは川の中流から上流へ、またアメマスは海から上流へ移動していきます。

しかし、川には農業用水をとるためのせきや、水力発電のためのダム、山くずれを防ぐための砂防ダムなどがあり、上流まで行けない場合があります。

上流に行けなかったイワナたちは、せき下で産卵することになります。このような場所では、良い産卵場所は少なく、たくさんのイワナが同じ場所で産卵するため前に産んだ卵を掘り返してしまったり、適していない場所で産卵したために卵が途中で死んでしまったりします。

人工産卵床を作ってあげることは、上流の産卵場所まで行けなかったイワナたちに、安心して産卵できる場所を作ってあげることなのです。

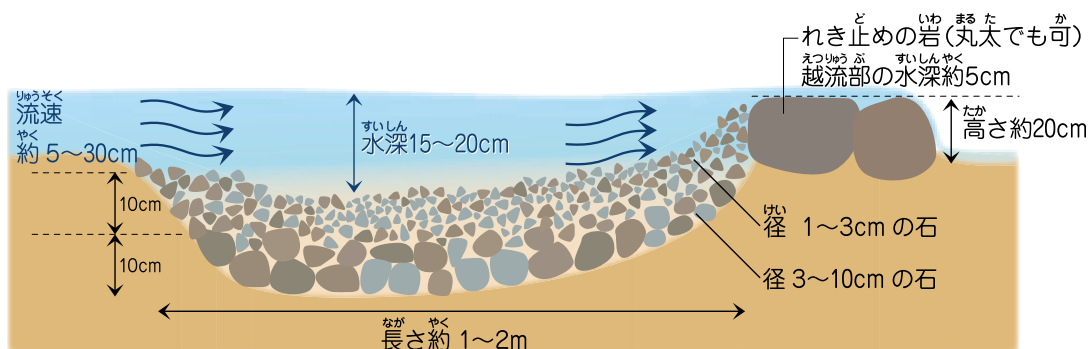
せきの下には良い産卵場所は少ないので、上流に行けないイワナは条件の悪い場所でも産卵してしまいます。



●イワナはどこで産卵するの？

イワナなどのサケやマスの仲間は、産卵のときに小石の下に卵を埋めることによって、卵が他の魚に食べられたり、川の水に流されないようにしています。

卵は、小石の下で卵からふ化して、春に稚魚となって泳ぎだします。この卵から稚魚に成長する間、水のほかに十分な酸素と栄養が必要です。このうち栄養は、卵のうにたくわえられていますが、酸素は川の水からもらわなければなりません。水から酸素をえるため、小石の下に埋められている卵には、いつでもきれいな水が流れていることが必要です。

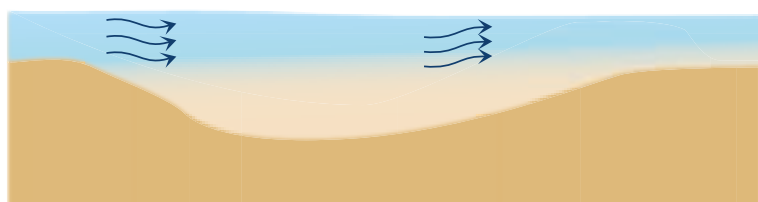


イワナの人工産卵床を横から見た図

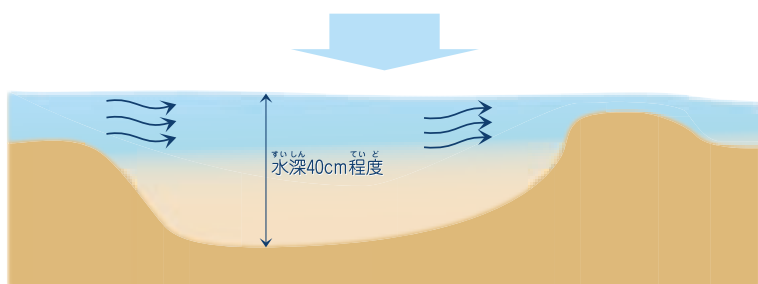
●イワナの産卵床の作り方



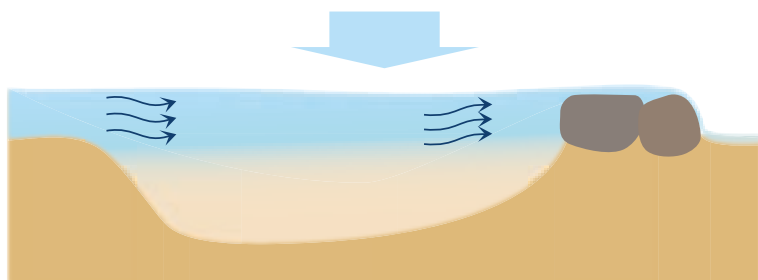
まず、大きな石を2～3個と、こぶし大の石、小石を用意します。
こぶし大の石と、小石はたくさん使います。



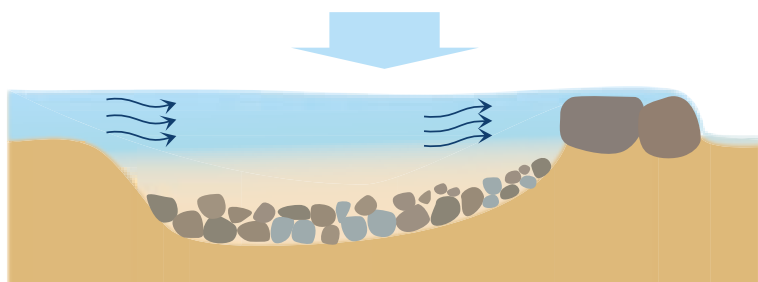
①流れのゆるやかな、水深10～30cmの場所を探します。



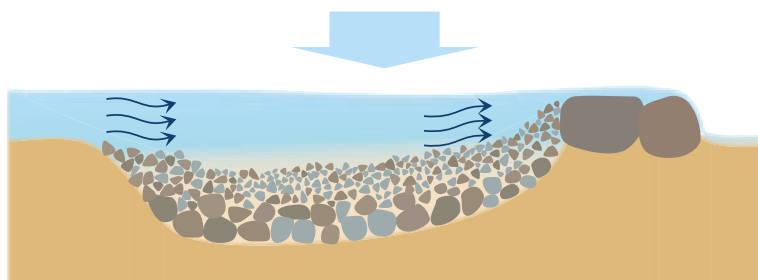
②約1×1mの範囲で川底を水深40cmくらい掘り下げます。



③川底にしく小石が流されないように、下流側に大きな石をおきます。



④川底にこぶし大の石を1～2列しきつめます。



⑤こぶし大の石の上に1～3cmの小石を厚さ10cmくらいしきつめて完成です。

がんばったよ「イワナの里づくり」体験学習

● 全校イワナ焼き体験学習(9月15日)



川を愛する会の方から、
イワナのお話を聞きました。



炭火で焼いたイワナはおいしいなあ！



奥入瀬川漁業協同組合の方が
準備してくれました。



みんなでじっくりイワナを焼きました。



ふるさとの川で生きる「イワナの里づくり」をみんなでがんばります！

●川の調べ学習（6月～10月）

6月



がっこうまわりの田んぼの水は、
いったいどこからながれてくる
のかを調べに行きました。

7月



しのたちかわのクリーン作戦に参
加して、川のせいをしました。

9～10月



おいらせがわみずりようようすい
ろの仕組みを学習しました。

9～10月



川から水を取り入れるトンネ
ル探検や、川の水の「水質調
査」を行いました。

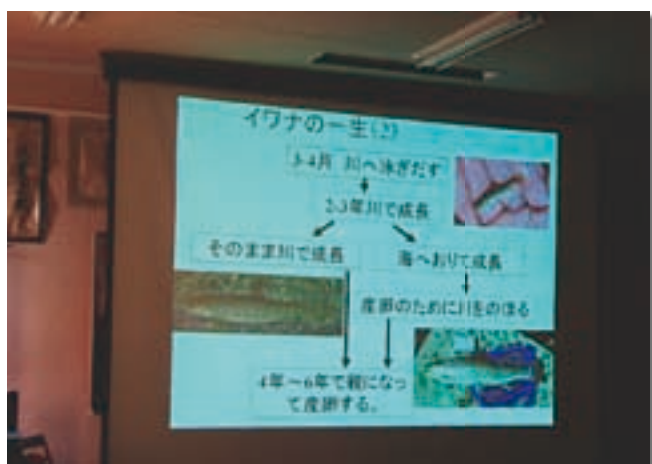
●イワナの^{さと}里づくり^{し ぜん がくしゅうかい}事前学習会 (10月6日)



ないすいめんけんきゅうじょ ^{ながさき} 長崎さんから、イワナの^{おし}ことを教えていただきました。



こどもたちも^{ねっしん}熱心^{がくしゅう}に学習しています。



スクリーンに^{うつ}映^{せつめい}して説明がありました。



^{ほうおくしょうがっこう} 法奥小学校の^{ろう か}廊下です。

●イワナの^{さと}里づくり(10月7日)

イワナの産卵床^{さんらんしやう}を、実際にみんなで作りました。あおもりの川^{あい}を愛する会^{かい}の方々の協力^{かたがた きやうりよく}で、鳶川^{つたがわ}の上流^{じやうりゆう}に産卵床^{さんらんしやう}を設置^{せつち}しました。



川を愛する会の方^{せつめい}から説明^うを受けました。



大人^{おとな}の方^{かた}の作業^{さぎよう}を見て、作り方^{かた}をおぼえます。



どうなるのかな？



こどもたちもスコップ^もを持って作業^{さぎよう}します。



力^{ちから}を合^あわせてがんばるぞ！



大人^{おとな}の方^{かた}々が、こどもたちをサポートします。



すいしん たし
水深を確かめます。



さんらんしょう
産卵床ができたぞ～！



イワナがくるかなあ。



「イワナの^{さと}里」ができました！ たくさんのイワナが^{たまご}卵を^う産んでくれるといいね。



さんらんしょう
産卵床をつくる前



産卵床をつくった後